

平成28年度

連 合 会 活 動 報 告

PTA

門司区小学校PTA連合会

会長 藤井 俊治

今年度初めて、例年行っていた区小学校PTA連合会指導者研修会の代わりに「門司区小学校PTA連合会ウォークラリー」をしました。11月19日(土)に、門司区の各学校から、児童95名、スタッフ約30名、引率保護者約30名が集まり、約155名で行いました。前日からの雨を心配しましたが、当日は天候が回復し、無事開催することができました。スタッフや引率保護者の方々の協力のおかげで、児童が14グループに分かれて、事故もなく無事ウォークラリーが実施できました。なお、参加者に対して実施したアンケートでは、「友達と協力し、歩くことができた。」等、好評な意見が多く、大多数が「来年も参加したい。」と答えていました。

門司区中学校PTA連合会

会長 吉村 利啓

「単Pの活性化」。本年度門中P連では、これを実現化すべく会長でも議論を重ね、他と逆行するようですが、まず親睦レクを廃止しました。

他校との情報交換も必要ですが、昨今の少年非行や補導状況を鑑み、まず自分の中学の現状を知ることが重要と考えました。

「何もない」ではなく大人のレクに費やしていた時間を子供にシフトして欲しい、ひいては単P活性化を図ると判断した結果です。

全国的に単P改革の動きも多く、今まで良かった事が裏目に出て、ひいては訴訟にまで発展する、折角の活動がそんな不幸な目に遭ってはならず、今後も子供たちの幸せとは何か、それを願い活動していく所存です。

特別支援学校PTA連合会

会長 新澤 直美

平成28年11月10日(木) ウェルとばた中ホールにおいて、第41回北九州市特別支援学校PTA連合会研修大会を開催いたしました。この研修大会は、講演とPTAの実践発表を隔年で実施しています。本年度は、二校のPTA活動の実践発表があり、多くの方にご参加いただき、大変有意義な研修大会となりました。

近年、障害児者を取り巻く環境は大きく変化しています。本市でも4月に東部地域の再編・整備として二校の総合特別支援学校が開校いたしました。今後、西部地域の整備についても計画・検討いただいているところです。特支P連8校のPTAが協力し合い、子どもたちのためにより良い活動を行っていきたくと考えています。

研 修 委 員 会 報 告

今年度 研修委員会の責任者として活動いたしました。最初は中々思うように行かず前年度委員長の指導の元、活動してきました。会議では、今後、研修委員会担当の第2回会長・副会長・役員研修会をどのように進めていくか、PTA会員の方々に何を伝えられるか、みなさんが何を求めているかを考えながら、進めて参りました。

また、指導者研修会の発表校の検討、家庭教育講演会の内容検討、警備等1つでも一人でもこの研修委員会の活動にご理解いただき参考にしていただけたなら、ありがたいと思います。年間を通して、研修委員会自身非常に勉強になったことは確かです。

今年度は、研修委員会のメンバーに恵まれ活発な意見をいただき、充実した研修委員会でした。ご協力してくださった全ての方々に感謝致します。

また来年度は通年はと少し違った研修委員会を考えています。引き続きご理解、ご協力をお願いいたします。研修委員会のお礼にかせてさせていただきます。

小倉北区小学校PTA連合会

会長 井村 典生

小倉北区 PTA 連合会では、「つながり」を大切にした連合会活動を行っています。会長同士のつながりを大切に、様々な行事や情報交換を行いました。毎年、7月の会長会を監島で行ったり、小倉北区 PTA ソフトバレーボール大会を行ったりしています。また、中学校 PTA と合同で研修会を実施したり、懇親会を開いたりもしています。毎月の会長会でも、各単Pの運営上の問題や、会長ならではの苦労を出し合う時間を設定し、悩みを共有するようにしています。今年は、各学校のバザーの日程を情報交換し、お互い行き来して、新しいアイデアを模索するという取り組みも行いました。

このように、会長同士のつながりを深めることで、各学校でのPTA活動がより活発になることを目指しています。

小倉北区中学校PTA連合会

会長 大谷 幸司

私たち小倉北区中学校PTA連合会では、毎年8月頃に親睦ソフトバレーボール大会、10月頃に研修会、12月に懇親会を開催しています。

研修会、懇親会については、4年前より小倉北区の中小合同連携で開催しています。特に懇親会については、来賓の方を含め総勢200名余の方に参加をして頂きました。今年度のPTA活動の慰労と残りの活動の団結を兼ね盛大に楽しく盛り上げています。

中小連携で行う意義として、普段なかなか交わる事のない校区内の小学校保護者、中学校の保護者、また、それぞれの教員の方相互の情報交換ができることがあります。この場を通じて知り合いになる事により、今後の連携がスムーズになっています。今後とも継続して実施していきたいと考えています。

小倉南区小学校PTA連合会

会長 河野 忠男

小倉南区小学校PTA連合会は、南部・企救・曾根・中部の4つの地区で構成されています。その各地区で、毎年スポーツ交流会を行っています。地区ごとに担当の学校を輪番で決め、その学校が主催となったスポーツの内容を決めて行っています。今年度は、ドッチビー大会やソフトバレーボール大会などを行いました。一つの地区では、今年度は、単Pのメンバーだけでなく、合同チームを編成しました。その団結力はとても素晴らしいと感じました。本当の意味で交流が図れたのではないかと思います。今後は交流を深める意味で各校対戦では無く、全6校の混合チーム編成をする事で、中学の進学において、保護者が顔見知りとなり、よりよいものになるのではないかと考えました。懇親会では、お酒の席という事で会話が弾んでいたように感じられました。全体的に見て、各校の交流は十分図れたと思います。

また、ある地区では、先生や保護者が200名以上参加をして頂き、珍プレー・好プレーありの和やかな交流会になりました。他校の方々や、同じ学校の仲間ともコミュニケーションがとれ、その結果、今後のPTA活動を充実して行く結果となりました。

どの地区も、スポーツを通じてお互いの交流を深め、今後のPTA活動の情報交換や相談の出来るきっかけが出来たと思います。

小倉南区中学校PTA連合会

会長 小森 潤一郎

皆さん日々の活動お疲れ様です。

小倉南区中学校 PTA 連合会です。とてもまとまりのある連合会です。

パス研修(今年度は、陶芸体験) ソフトバレー大会、まつりみなみ(まかない飯、うまかったなー)、九州ブロック研究大会(パフェクトの人達)、連合会の紹介等、皆で打ち合わせ、練習など集まり、おとん、おかん、皆必死に頑張っています。やるときは、全力をモットーにこれからも子ども達の一歩先を行く大人の背中を見せていきたいと思っています。

これからも全力で頑張っていきますので宜しくお願い致します。

教育環境委員会報告

この数年、教育環境委員会のお題目とも言える「ケータイ・スマホ夜10時電源OFF」運動について、年度始めの会議の際に話し合いました。幟やパンフレットを配布したり、ガイドラインの作成を行ったりしていますが、実際のところ実施できているのか?単Pレベルでの取り組みはどうか?疑問視する意見が出されました。また、単に「夜10時電源OFF」ということではなく、インターネットの世界に潜む問題の議論も行いました。

そこで、北九州市PTA協議会は、単PのPTAの為にあるという観点からも、現実的な取り組みになるようにしていくという意見になりました。その為、現状把握を行う為にアンケートを実施しました。結果、「夜10時電源OFF」について周知は行っているが、実施レベルにおいては不十分で、各単P「どういった取り組みをすればいいのかわからない」「学校が研修等を行っている」といった意見がみられました。また、携帯・スマホにおけるトラブルについても聞いたところ、何もない学校もありましたが、いじめにつながりかねない案件やトラブルが起こっている学校もありました。委員会として、変化するインターネット社会への対応力を継続的に高めることが重要と結論に至りました。そこで、その為、アンケート結果のお知らせと合わせて、事例の紹介や研修会等の講師の紹介など、単Pが具体的に取り組みやすい企画等の提案を行っていき、子ども達だけでなく親も一緒に学べる取り組みにしていきたいと思っています。

若松区小学校PTA連合会

会長 宮崎 彰三

若松区では、区内の小中高校でつくる「若松区 PTA 連絡協議会」が研究集会や母の会との合同研修会を行い、小P連では、母親委員会活動やソフトボール・ソフトバレーボールなど区内の親睦を深めるスポーツ大会を行っています。このうち、ソフトボール大会(10月)は、日頃はPTAになじみが少ないお父さんたちが活躍する貴重な機会となっています。各校とも7月頃にチーム結成し、毎週のように練習を重ねて試合に臨みます。今年の大会も熱い戦いが繰り広げられ、その結果、優勝は、見事、修多羅チーム(写真)が勝ち取りました。大きな怪我や事故もなく、とても盛り上がった大会となりました。来年は、新設の「ひびきの小」も加わって、ますます熱い大会になると期待しています。

若松区中学校PTA連合会

会長 山元 浩史

若松区中学校 PTA 連合会では、8月に区内6校の各単Pより選手を募集し、ポウリング大会を実施し、区内6校の PTA 会員の親睦及び連携を図ることができました。参加された方が楽しかったと思える行事として、今後も継続していきたいと思います。

若松区では連合会の活動の他に、小中高PTA・区役所と連携した若松区PTA連絡協議会があり、年2回の研修会(10月PTA研究集会、1月若松母の会合同研修会)を行っています。

今年のPTA研究集会は若松高校において「子どもを育てる10か条」をテーマに講演、分科会、若松高校の学校紹介を行い、笑いの絶えない楽しい研修会を行うことができました。

若松区では小中高PTA、地域ぐるみで子どもたちの成長の為に活動を行っています。

戸畑区小学校PTA連合会

会長 有田 秀昭

戸畑区小学校PTA連合会では、平成28年12月10日(土)に「子育て研修会」を開催しました。今年度の研修会の企画運営は、戸畑中央小学校が担当しました。研修のテーマは「子どもとのコミュニケーションのとら方」で、特定非営利団体 KID's work (キッズワーク) 代表理事 大久保大助氏のコーディネートのもと、学校ごとの枠をはずしたグループワーク形式で研修が進められました。「子どもの叱り方」という課題について、どんな叱り方が望ましいのかを各グループで議論し纏めていくとともに、各グループの意見を全体で共有しました。研修会に参加した方々に、子育てやPTA活動についてのヒントを持ち帰ってもらえたことはもちろん、研修会を通して、参加者や学校同士の繋がりがさらに深まる良い研修会になりました。

戸畑区中学校PTA連合会

会長 藤谷 真

戸畑区中学校は、4校と小規模でかつ諸先輩方のご尽力のお蔭で比較的容易に連携ができる連合会です。これはまた戸畑、日本の伝統行事である戸畑祇園の小若山等に関わる事も学校、地域でその伝統にみな同じベクトルに向き合うきっかけになっているように思います。

さて、連合会の親睦行事としては、秋にグラウンドゴルフを開催していましたが、校庭の確保や学校行事との調整に苦慮していた事から今回初めてボーリング大会を開催。試合内容は、珍プレー好プレー続出で、初めて会った仲間(保護者、先生問わず)でのハイタッチ有りの盛り上がりでした。続けて懇親会も開催し、学校の事や家庭の事を夜遅くまでお互いに語りあう非常に有意義な時間を過ごす事が出来ました。こういった普段の学校活動、より広い連合会での関係を通じて、子育て、親子のキッカケになればと思います。

総務委員会報告

昨年度から引き続き「200単位PTAの情報共有システムの構築」という大変大きなテーマを掲げています。簡単に言えば、北九州市内でのPTAに関するいろいろな情報を見たい人が見たい時に見られるようになることだと思います。PTAの皆さんが知りたい情報には、どんな情報があるのかで委員会が議論しました。「事件・事故」など緊急性のあるものも、「各単PPTAの活動内容」など、より良い情報の参考にしたいものなど、大きく2種類に分かれるのではないのでしょうか。その中で「事件」などは他の機関と連携が必要となり、協議やシステム作りが困難である為、今回は「情報の共有」についてどのような情報共有システムを構築していくのか議論しました。

私たちPTAの原点は、「子ども達の健全な学校生活のお手伝い」です。そのために必要な情報とはどんなものか議論する中で、「他校の特色のある行事」「PTAで苦労したこと」「興味深い情報」などなど、他校のことは意外と知らないことが分かりました。

市P協のHPには理事会の議事録や年間の活動計画など、いろいろな情報が掲載されていますが、先ほどのような内容はありません。そのHPで各校とリンク出来るシステム作りできれば、いろいろな情報が共有できるようになります。しかし、まだまだ多くの問題があります。そこでまず、市P協HPに「PTAお問い合わせコーナー」を設置し、「各単PPTAが必要とする情報」、「皆さんの素朴な疑問」を聞かせるという方向で今現在検討しています。今後、役員会、委員会の皆様と協議を重ね、今年度中にそのコーナーが開設されることを目指しています。

今年度、総務委員会の皆様には、大変お世話になりましたことを、この場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。

八幡東区小学校PTA連合会

会長 松島 善成

八幡東区小学校PTA連合会としては、年間を通して、8月に親善スポーツ大会、11月頃に役員、委員長が中心になってのふれあい指導者研修会を各学校持ち回りで開催しています。

今年度の特色としては、12月に小学校と中学校のPTA連合会が合同でJICA九州での研修会を開催しました。

もう一つの特色としては、八幡東区のPTA連合会の中に、女性副会長があります。小・中学校合同で、年二回PTA新聞(マザーズ)を発行、12月には人権研修講演会を企画・運営をするなど色々な面で活躍してくれています。

これからも、時代に即したPTA活動を小・中学校が一緒になって活動して行かなければならないと考えています。

八幡東区中学校PTA連合会

会長 井上 真吾

八幡東区には7つの中学校があります。春の総会に続いて、8月末には、氷上のカーリングによく似たスポーツである、ユニカール大会を行っています。ルールとやり方を覚えれば、体力の差なく楽しむことができ、大会前に2回ほどの合同練習を行い、各校交流することができます。

冬には、八幡東区の中小PTA合同での人権研修会の実施。また別で、小中合同で、ボーリング大会を開催し、保護者同士の親睦と連携を深めています。今年は、趣向を変えて、小中合同の研修会で絵本のワークショップを行い、学ぶことができました。

これからも、八幡東区の各中学校、小学校の方々とも力を合わせ、地域の子どもの健康やかな成長を願い、力を合わせ、がんばっていきます。

八幡西区小学校PTA連合会

会長 山本 貴光

八幡西区小学校PTA連合会は、区内32の小学校が参加する、北九州市内の区P連としては最も会員数の多い連合会です。8校ずつ4つのブロックに分かれ、各ブロック研修会などブロックごとの活動もさかんに行われています。学校数、会員数の多さゆえの大変さがありますが、単位PTAとしての力が強いのが特徴と言えると思います。

また、西小P連として32校すべてが参加する事業は「グランドゴルフ大会」「西小P連指導者研究集会」があり、先述のブロックごとの「役員研修会(ブロック会議)」も加えて三大事業と呼ばれています。今年度の活動も2月に予定されている「西小P連指導者研究集会」を残すのみとなりました。

私自身、西小P連会長という32年に一度の大役に驚き畏れる暇もなく今年度の活動が始まりましたが、皆様の協力のおかげで無事活動することが出来ました。今後も西小P連での活動が子どもたちのより良い学校生活につながっていくように、頑張っていきたいと思っています。

八幡西区中学校PTA連合会

会長 脇 文子

八幡西区中学校PTA連合会は、中P連の中で一番多い15校で活動をしています。本年度は8月に「ボーリング大会」、11月に「グラウンドゴルフ大会」と「人権研修会」を開催しました。

「グラウンドゴルフ大会」の表彰では上位3人が校長先生と教頭先生という結果になり、校長会長(井澤 弘校長)の大会講演では「先生方はちゃんと仕事をしていますか?」と笑いを誘う一コマもありました。

スポーツを通じて「一致団結」をし、人権研修会を通じて「他者を思いやる心作り」に取り組むことが出来たように思います。

連合会の大会を通じ、まずは各単Pが団結・結束し、いい形となって表れているのではないのでしょうか。

どこで連合会にも負けないほど楽しく活動ができた実感しています。

母親委員会報告

平成28年度の母親委員会では、読書推進を課題として活動に取り組んできました。

各区の小学校・中学校の母親代表と「どうすれば本好きの子どもに出来るのか?」など、読書推進について話をしました。子ども主体の活動でしたが、親の読書離れもあるのではないかと?と意見もありました。【北九州市子どもを育てる10か条案】の中にもありますが「まず親がきちんと実行、社会のルール」が大切です。読書は、社会のルールではありませんが、やはり親が手本をみせない子どもに読書しなさいとは言えないのではないのでしょうか。

そこで、親の読書離れを解消するために新たな本との出会いを楽しく学べる「ビブリオバトル」を開催しました。講師に、ビブリオバトル普及委員会九州地区代表をお招きし開催しました。参加者から、「講師の説明がわかりやすかった」「もっと本を読んでみようと思う」などの感想をいただきました。

また、母親委員会の会議では、北九州市PTA協議会理事会の内容を伝え、各連合会長にサポートしてもらえるようにしています。その他に、各区の皆さんと情報交換をして、研修会の講師情報を収集もしました。他区の研修会にも参加させていただきました。